

2024(令和6)年度 ～ゆいまーる業務改善 in おきなわ～

社会医療法人敬愛会 **なかがみ地域包括センター** **インカム活用で業務効率化アゲアゲ作戦**



病床数 60 床 介護付有料老人ホーム 4 床
介護付有料老人ホームなかがみ苑 56 床
職員数 看護師4名 介護職 19 名 相談員 1 名
作業療法士 1 名 介護支援専門員 1 名

《課題・背景》

- ◆なかがみ苑の面積が広く
フロアが 3 階にわたっている
⇒3 階のフロアに職員が複数分散勤務
⇒職員間の物理的距離が遠い
⇒導線が長い
➡ **効率的なコミュニケーション手段が必要！！**

《目的・目標》

- コミュニケーションツールとしてインカム
活用に着眼して
- 1 スタッフ間のコミュニケーションを円滑
にすることで、ケアの効率や無駄な動
きを少なくする
 - 2 タイムリーに連絡を取り合い、ケアの
時間短縮を図る

《取組み内容》

インカム活用事例



応援要請



リーダーが全員へ伝達
指令を出す



トイレ介助中で応援不可
他の人へ要請依頼



タイムリーな
コミュニケーション可

《成果・効果》

《財務の視点》(費用対効果)

- ・費用対効果あり、コストパフォーマンス成果あり

《顧客の視点》

- ・入居者のニーズに速やかにゆとりをもって対応
・業務効率があがり職員の負担が軽減した

《業務プロセスの視点》

- ・連携した情報のやり取りが容易にでき時間短縮

《学習と成長の視点》

- ・指示や示唆をもらうことができた
・他のスタッフの業務を知る事で仕事の流れがわかった
・容易にコミュニケーションが取れ安心感・一体感がみられた

《ナースセンターから一言》

- ◎「インカムはイベント時の連絡手段」という思い込みはいけませんね！
- ◎費用対効果を考慮したインカム活用で、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、業務の効率化に繋げており、有益な取り組みです。連絡・伝達にお悩みの施設は参考にしてみてもいかがですか。



なかがみ苑においてコミュニケーションツールとしてインカムは便宜が良い